

秋らしいさわやかな季節になりました。今月終わりの読書週間に向けて、先生たちもおすすめの1冊を紹介する予定です。親子で同じ本を読んだり、読み聞かせをしたり、わくわくする本、心に残る本と出会う時間を作りたいものです。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「心に残る本との出会い」

私が小学生の時の本にまつわる話をします。2年生の時の担任の先生は、よく読み聞かせをしてくれました。その中に、替え歌が出てきてとてもおもしろい本がありました。「やねよりひくいこいのぼり、大きいまごいは～」と続くのです。手をパン、チョコキ、まる、めがねというのもありました。みんなで、まねをしてはやりました。

花丸ちょうだい、という話もありました。皆さんは花丸をたくさんもらったことがあるでしょう。でも、私が花丸を見たのは、2年生のその時が初めてでした。読んでいただいた本の名前は覚えていませんでしたが、大人になって学校の先生になり、2年生を受け持ったときに、その本を読み聞かせしたいと思いました。

子供の頃の記憶を頼りに、本は見つかりました。「先生のおとおりだい！」という本です。8歳の時に読んでいただいた本は、15年経っても先生の優しい声と鮮やかな花丸の記憶と一緒に、私の心に残っていました。

3年生の時の担任の先生は、子供たちが1冊ずつ家から本を持ってくるようにして、学級文庫を作ってくれました。自分の家がない本が教室ですぐ読めるようになり、とても嬉しかったです。

大好きな本に出会うことは、大切な友達に出会うのと同じくらい、素敵なことです。気に入った本に出会ったら、友達やおうちの人に話をしたり、ノートに記録を書いたりするのもいいですね。皆さんが、本と素敵な出会いをしてくれることを願っています。

<感想>

- 1 好きな本は、大人になっても記憶に残ることが分かりました。今のうちに良い本を見つけて、大人になっても本を大切にしようと思いました。
- 2 自分の家がない本を読めた喜びが心に残った。自分は、ゲームの攻略本やマンガばかり読んでいるが、他の本も読んでみようと思った。
- 3 こいのぼりの替え歌は、ちょっとおもしろかったです。10月に入ると読書週間が始まるので、いっぱい本を読みたいと思います。これからも本をいっぱい読みます。
- 4 校長先生の本は、ぼくのお母さんが持っています。前読んでみたら、すごくおもしろかったです。
- 5 心に残ったのは、子供の頃に読んだ本に、大人になっても出会えたことです。ぼくは、小さい頃に読んだ本がお店にあったので、「あ、あの本だ。久しぶりだな～」と思いました。これからも、どんどん本を読みたいと思いました。
- 6 本でちょっとだけでも人生が変わればな、と思いました。工夫して本を読んだりして、もっと本を楽しく読めるといいなと思いました。
- 7 私も1・2年生の時に、先生や図書室の先生に読み聞かせをしてもらったことを思い出しました。もう6年生になったから、低学年の人にも読み聞かせができるようになるといいと思いました。
- 8 2年の頃は、本が好きではありませんでした。5年生になると、図書室に行く数も本を借りる数も増えました。やっぱり本って素晴らしいものだ、改めて思いました。
- 9 何年経っても、ちゃんと心に残っているという部分が一番心に残りました。ちゃんとお気に入りの本を見つきたいです。
- 10 食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋だから、毎年より運動をし、たくさんの本を読む習慣を付けたいと思いました。先生の話に興味をもちました。
- 11 本って不思議ですね。読んでる間にあっという間に時間が過ぎたり、本の世界に入ってるんですね。私は「一期一会」という本を読んでいます。「ブンダバー」もおもしろいですよ。読んでみてください。
- 12 本は昔は好きだったけれど、今はそんなに好きではありません。だけど、おばあちゃんが本を買ってくれて、その本がお気に入りになりました。全部読んで、3日かかりました。すごくおもしろかったです。また読みたいです。